

第8回桶川駅東口周辺地区まちづくり懇話会議事要旨

<駅前広場の用地買収について>

- ・駅前広場は平成26年から用地買収スタートとありますが、現在進みつつあるのですか。
⇒事業認可を県から3月18日にいただきました。これにより、市では事業の終わりまで必ずやらなければなりません。市では本年度予算を約2億5千万円いただいております、今後は、地権者の方々にご相談をさせていただきながら事業を進めていくこととなります。今年度中には間違いなく用地買収を進め、「いよいよ買い始めた」と目に見える形（更地）でお示ししていきたいと思っております。
- ・用地買収の契約を締結し、建物を壊し、更地になれば、周りの人もいよいよ始まったとわかるので、是非、積極的に進めてください。

<駅通りの事業認可について>

- ・駅通りの事業認可はどのようになっていますか。
⇒駅通りの事業認可は、県が国に手続きをしなければなりません。県は本年度予算を確保しており、事業認可を取得することを前提としていると思われます。
現在、県は国と調整をしていると聞いていますので、じきに事業認可を取得するものと思っています。

<南小跡地について>

- ・用途地域を変更する計画はあるのですか。
⇒最初に用途地域の変更を考えるのではなく、地域のまちづくりを考えていく中で、南小跡地に何が必要なのかを煮詰め、そこで必要があれば用途地域を変更していくこととなります。
- ・南小跡地の活用において、周辺に迂回路が必要であると思っております。
⇒市民アンケート、企業ヒアリングでは地区内道路が必要であるという意見をいただいております、市でもその必要性は認識しております。現在、駅の通りがスタート地点に立ったという状況ですが、次のステップとしては地区内道路等の検討を進めます。どこに、どのような性能をもった道路を配置し

ていくべきなのかを検討し、地権者の方々を含め広く議論し、また市民の皆様、懇話会でも見ていただきながら進めていく必要があると思います。

- ・駅前広場、駅通りの整備は、6年後の東京オリンピックと同時期になるため、資材や、職人の不足などの工事への影響も考えられるので、計画をたてて進めていく必要があると思います。

⇒社会の色々な要因により、工事などに影響が出てくると思います。今は事業が始まったばかりで、工事の手前の段階ですが、社会の動向を常に見ながら、計画をしていこうと思います。

<オープンスペースについて>

- ・駅前広場と南小跡地をつなぐオープンスペースについても、検討を進める必要があると思います。

⇒オープンスペースは、公園、緑地、車が入らない広場のようなイメージであり、樹木が生い茂り、憩い、安らぎの空間であるとよいと思います。

駅や駅前広場の脇に緑の空間が公園としてあるのは、非常に少ないと思います。桶川の駅前広場及び南小跡地周辺のところで、公園のようなオープンスペースをつくと他にはない魅力となり、桶川市の大きな特長になっていくと思います。さらにこのスペースを使って、音楽や、朝市など、皆様に遊んでいただくような空間づくりをするのがよいと思います。今はそのような案をあたためている状態です。今後は、将来のまちづくりのあり方やこのオープンスペースの考え方などを整理していく必要があると考えています。

<今後の懇話会について>

- ・例えば東口の商店街をどうしていくか、桶川の観光をどうしていくかなどのソフト面についても意見交換をしていく必要があると思います。

- ・市のなかで、ソフト面を担当する部門はあるのですか。

⇒ソフト面は、役所が決めて押し付けることでなく、商店街の方々、商工会の方、周辺の方々、皆さんで取り組まなければならないことだと思えます。そういったことも今後、話し合っていく必要があると思います。